

友と共に・・・



冬めく中，思わず微笑みたくなるような登校風景がある。集合場所を決め，元気に自転車で集団登校する3年生男子4，5名の一団。その中には，集合場所が学校とは逆方向にもかかわらず，わざわざ向かう生徒もいる。

心にふとある漫画の一節「友情とは成長の遅い植物である。それが友情という名の花を咲かすまでは，幾度かの試練，困難の打撃を受けて堪えねばならない。」が浮かんだ。幼なじみ，竹馬の友，よくぞここまで・・・。あと数か月で卒業を迎える彼ら，これからの人生，それぞれの紆余曲折にも寄り添う関係が・・・。

さて，私にも紹介したい友がいる。その友は，私の時間に合わせてくれて，放っておいても静かにいつまでも待っていてくれる。そして，私があきらめない限り何度でも付き合ってくれる。「こんなことも知らないの？」など，上から目線で決して言わない。私の想像力を養い，新しい知識や着想をくれる。それどころか，疑似的にはあるけれど，様々な人生も体験させてくれる。コロナ禍であっても密でいられる。

そう，私の友，名前は「本（書物）」。私の中で彼？，彼女？の存在は，ますます大きくなっている。これからも彼と過ごす（読書）ことで，新しい生活様式，自粛することでおこる弊害を，少しでも軽減させていくつもりである。



校長 福田 幸一